

製品名: ERK2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80560**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA |
| 反応性 | 人間、ネズミ、サル |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG2a |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 41kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | ERK2 |
| 別名 | ERK; p38; p40; p41; ERT1; MAPK2; PRKM1; P42MAPK; p41mapk; MAPK1 |
| 遺伝子 ID | 5594.0 |
| SwissProt ID | P28482 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト ERK2 の精製された組み換え断片。 |

背景

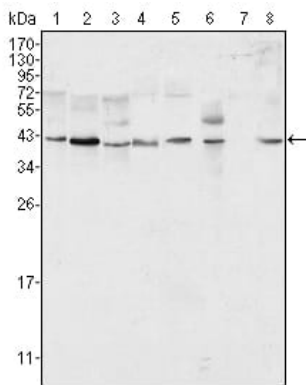
ERK2（細胞外シグナル関連キナーゼ 2 またはマイトジェン活性化プロテインキナーゼ 1 と呼ばれる）は、360 アミノ酸（約 40kDa）のタンパク質で構成され、MAP キナーゼファミリーに属します。MAP キナーゼは、複数の生化学シグナルの統合点として

機能し、増殖、分化、転写調節、発達など、多様な細胞プロセスに関与しています。ERK2の活性化には、上流のキナーゼによるリン酸化が必要です。ERK2は休止細胞の細胞質に存在し、細胞外刺激を受けると二量体の能動輸送によって核に移行します。ERK2は胎盤の発達に必須であり、栄養膜区画のERK2は迷路の血管新生に不可欠であると考えられます。

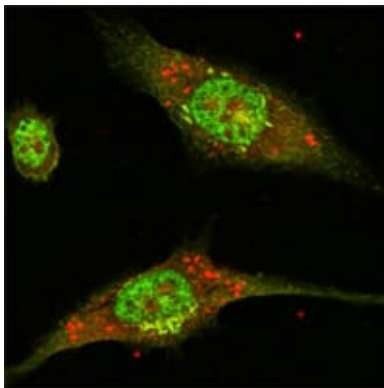
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Jak-STATシグナル伝達経路

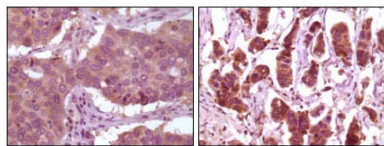
画像データ



Hela (1) 、 NIH/3T3 (2) 、 MCF-7 (3) 、 HEK293 (4) 、 Jurkat (5) 、 A549 (6) 、 NTERA-2 (7) 、 および SMMC-7721 (8) 細胞溶解物に対するERK2マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



ERK2マウスmAb(緑)を使用したEca-109細胞の共焦点免疫蛍光分析。



ERK2マウスmAbとDAB染色を使用して細胞質局在を示すパラフィン包埋ヒト肺癌(左)および乳癌(右)の免疫組織化学分析。